



おおさか東線北区間（新大阪～放出）新駅の概要について

平成28年9月26日
西日本旅客鉄道株式会社
大阪外環状鉄道株式会社

おおさか東線は、JR京都線（東海道本線）新大阪駅から大和路線（関西本線）久宝寺駅に至る新路線として、大阪東部地域の鉄道ネットワークの充実を目的として、大阪外環状鉄道株式会社と西日本旅客鉄道株式会社で整備を進めており、平成20年3月に放出から久宝寺までを開業しています。

この度、平成31年春の開業に向けて準備を進めている、新大阪～放出間の新駅4駅の概要が決まりましたので、お知らせいたします。

1 主な経緯

- 平成11年 6月 南区間（放出～久宝寺間 9.2km）工事着工
- 平成20年 3月 南区間（放出～久宝寺間）開業
- 平成19年11月 北区間（新大阪～放出間 11.1km）工事着工

2 新駅の計画概要

名称(仮称)	駅設備	昇降設備
西吹田	相対式ホーム2面 8両編成対応	エレベーター2基 (各ホーム1基) エスカレーター4基 (各ホーム上り・下り)
淡路		
都島		
野江		

※詳細は別紙を参照して下さい。

3 駅舎の基本コンセプト

○ 全体コンセプト

- ・既成市街地の活性化を促すと同時に、地域の財産となる駅
- ・国土軸である新大阪へ連絡する、新たなネットワークの玄関口となる駅

○ 北区間デザインコンセプト

- ・地域が刻んできた歴史と、暮らす人々のつながりを感じる駅

【キーワード：水都・水運の歴史、水辺の自然の豊かさ、人のつながり】

4 開業予定

平成31年春北区間開業予定

別紙

【西吹田（仮称）】

○設置位置

＜所在地＞大阪府吹田市南吹田（**新大阪**←約2.0km→**西吹田**←約1.3km→**淡路**）

○駅設備の概要

高架下駅舎、相対式ホーム2面（8両対応）、
エレベーター2基（各ホーム1基）、エスカレーター4基（各ホーム上り1基・下り1基）

○デザインコンセプト

「神崎川と水路の風景」

新駅周辺は、神崎川の水資源を生かした水田、くわいの栽培地であった地域の歴史・風土のあるまちであることから、神崎川・水路の風景を表現しています。



西吹田駅（仮称）イメージパース



西吹田駅（仮称）工事の様子

【淡路（仮称）】

○設置位置

＜所在地＞大阪府大阪市東淀川区菅原（**西吹田**←約1.3km→**淡路**←約2.1km→**都島**）

○駅設備の概要

高架下駅舎、相対式ホーム2面（8両対応）、
エレベーター2基（各ホーム1基）、エスカレーター4基（各ホーム上り1基・下り1基）

○デザインコンセプト

「菅原道真と淡路」

淡路の地名は、平安時代、菅原道真が中州（中島）であったこの地を、淡路島と間違えて上陸したことに由来すると伝えられていることから、当時の川の流れと地形などを表現しています。



淡路駅（仮称）イメージパース



淡路駅（仮称）工事の様子

【都島（仮称）】

○設置位置

＜所在地＞大阪府大阪市旭区赤川（淡路←約2.1km→都島←約2.2km→野江）

○駅設備の概要

高架下駅舎、相対式ホーム2面（8両対応）、
エレベーター2基（各ホーム1基）、エスカレーター4基（各ホーム上り1基・下り1基）

○デザインコンセプト

「淀川の渡し舟」

新駅の位置する城北地域を含む旧淀川には多くの渡し場があり、水運とともに歩んできたことから、渡し舟が水面に浮いている様子を表現しています。



都島駅（仮称）イメージパース



都島駅（仮称）工事の様子

【野江（仮称）】

○設置位置

＜所在地＞大阪府大阪市城東区野江（都島←約2.2km→野江←約1.8km→鳴野）

○駅設備の概要

高架下駅舎、相対式ホーム2面（8両対応）、
エレベーター2基（各ホーム1基）、エスカレーター4基（各ホーム上り1基・下り1基）

○デザインコンセプト

「榎並猿楽」

鎌倉時代に能のルーツのひとつとなる榎並猿楽がこの地より発祥したことにちなみ、猿楽の衣装と能の舞台を引用し表現しています。



野江駅（仮称）イメージパース



野江駅（仮称）工事の様子